

大年ため池管理のポイント（案）

大年ため池水利組合

1 ため池の日常管理

ため池の日常管理は、ため池の貯水機能を維持するだけでなく、災害を未然に防ぐための異常発見にもつながるなど、重要な作業であることから、各施設ごとに点検要領をとりまとめる。

（１）貯水位

大年ため池は、堤体や余水吐の断面が不足しているほか、堤体に漏水が見られることから、通常時の管理水位を余水吐から $H=30\text{ cm}$ 下がり（ため池栓の上から２孔目以下）で管理することとする。

（２）堤体

堤体は、ため池に用水を貯水するための主要な施設であり、決壊を防止するためには堤体の強度維持が重要である。したがって、堤体の強度維持のため、立木竹等の植生を防止する必要がある。

- ① 堤体の強度維持や堤体の状況を確認しやすくするため、４月、９月に定期的な草刈を実施する。
- ② 堤体の異常がないか確認するため、１回／月の点検を行う。
- ③ 80 mm ／日以上 of 降雨後にも点検を行う。

【点検のポイント】

- ・ 亀裂、陥没がないか。
- ・ 池側の法面が過度に侵食していないか。
- ・ 池側、下流側法面にパイピング孔やはらみだし等が見られないか。
- ・ 下流側法面に漏水が見られないか。

（３）余水吐

余水吐は、流域から流下してくる貯水出来ない洪水を、ため池の外に向け安全に流下させる重要な施設であり、大雨等に備え、日常から異物の処理などの維持管理が必要である。

- ① 余水吐に異常がないか確認するため、１回／月の点検を行う。
- ② 80 mm ／日以上 of 降雨後にも点検を行う。
- ③ 流入水路の分水が十分機能するか点検を行う。水路の土砂上げ等清掃を定期的に行う。

【点検のポイント】

- ・ 余水吐部に亀裂等の破損がないか。
- ・ 余水吐部にゴミや流木、土砂等の堆積はないか。また、貯水池にゴミや流木が浮かんでないか。
- ・ 余水吐部に土のうを積んだり、角落し等で人為的に堰上げていないか。

(4) 取水施設

取水施設は、ため池の貯水を利用するための施設である。大年ため池の取水施設は、斜樋管から堤体の下部を貫く底樋を通して取水する構造となっている。

このように、構造上斜樋、底樋から漏水があれば、堤体の強度低下につながることから、本施設の維持管理は重要である。

- ① 斜樋に異常がないか確認するため、1回／月の点検を行う。
- ② 80mm／日以上 of 降雨後にも点検を行う。

【点検のポイント】

- ・ 斜樋に亀裂等の損傷がないか。
- ・ ため池栓が正しく開閉するか。
- ・ 底樋に亀裂やたわみ等がないか。
- ・ ため池栓を閉じた状態で、底樋内や周りから漏水がないか。

2 異常気象等の緊急時の対応

(1) 貯水位

- ① 梅雨期、台風期等に備えた事前の水位低下措置
 - ・ 貯水を余水吐から $H=1.0\text{m}$ 下がり（ため池栓の上から6孔目以下）まで水位低下させる。
- ② 大雨警報等が発令した場合及び市や県から水位低下の支持があった場合の事前の水位低下措置
 - ・ 貯水を余水吐から $H=2.0\text{m}$ 下がり（ため池栓の上から10孔目以下）まで水位低下させる。（梅雨期、台風期）
 - ・ 貯水を余水吐から $H=1.0\text{m}$ 下がり（ため池栓の上から6孔目以下）まで水位低下させる。（かんがい期）

(2) 点検パトロールの実施

安全に配慮した上で、1回／日程の点検を行う。

【点検のポイント】

- ① 堤体
 - ・貯水が堤体を超える気配はないか。
 - ・堤体から漏水が見られないか。
- ② 余水吐
 - ・余水吐に異物が堆積していないか。
- ③ 取水施設
 - ・ため池栓は開いているか。
 - ・底樋の周辺から漏水がないか。

福知山市市寺奥池・市寺口池（市寺地区）ため池安心安全マップ（維持管理編）

皆さんの生活している周辺には、地域の大切な資源が多くあります。
今回は市寺奥池・市寺口池について、災害を未然に防止するために必要な維持管理などを紹介します。

市寺奥池	
所在地：京都府福知山市市寺	市寺口池
規模 堤高（堤防の高さ）は、H=8.3mです。	所在地：京都府福知山市市寺
堤長（堤防の長さ）は、L=110.0mです。	規模 堤高（堤防の高さ）は、H=11.0mです。
貯水量（池の中の水の量）は、満水時でV=30,000m ³ です。	堤長（堤防の長さ）は、L=58.0mです。
	貯水量（池の中の水の量）は、満水時でV=9,000m ³ です。



市寺奥池全景



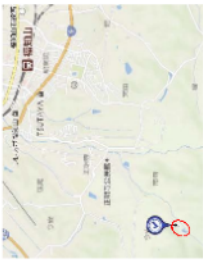
市寺奥池堤体下流側風景



市寺口池全景



市寺口池堤体下流側風景



位置図

通常時の維持管理

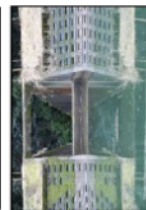
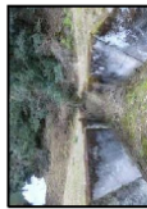
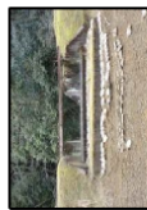
ため池を安全に使うためには、日常の管理がとても大切です。
適正な管理を行っていれば、災害を未然に防ぐことができます。



【市寺奥池】



【市寺口池】



洪水吐

放水路

取水施設

- ・草刈を定期的にに行いましょう。
- ・湧水状況や法面の状況（亀裂・凹凸）を点検しましょう。

- ・土砂やゴミが詰まると、池からの水が流れにくくなり、ため池が危険な状態になります。

- ・大雨等により水位上昇が予想される時は早い目に水位を下げるように1回はため池をカラにして底層およびその周辺に溜まった土砂を除去し、普段目に見えない部分も点検しましょう。

維持管理の方法

- ☆堤体の草刈を毎年1回以上行い、法面に亀裂や漏水がないか確認します。
- ☆年に1回程度水位を下げて池内の状況（周辺の洗掘や土砂の堆積など）を確認します。
- ☆洪水吐や取水施設に落ち葉などが堆積していないかを確認します。
- ☆台風などの大雨が予想される場合は、事前に水位低下を図ります。

区民の皆様へのお願い

- ☆草刈やゴミ拾いなどの清掃活動に積極的に参加を、お願いします。
- ☆地域に生息しない魚や植物の持ち込みを避け、たら注意するか市寺自治会に連絡をお願いします。